



人にも猫にも

猫新聞

郵便振込口座
00830-2-204941 Go!Cats
<http://go-cats.main.jp/index.html>

Go!Cats

ゴーキャツは浜松市を中心に、飼い猫・野良猫の不妊手術推進、猫の譲渡会開催などの活動をしています



不治の病と闘って・・・

その子猫は真っ白な毛並みできれいなブルーとイエローの瞳をしていた。真っ白な猫に良く見られるオッドアイといわれる神秘的な瞳・・・
まだ目も開かないようなころ、他の兄弟たちと一緒に畑の隅に捨てられ、保健所に持ち込まれそうになったところを心やさしい人に助けってもらったのだった。
預かりボランティアさんの手を借りてスクスク育ち、譲る会へのデビューが近づいたある日、この子の息遣いがおかしいことに気付いた。
頭をよぎる嫌な予感を振り払いながら、急いで病院へ連れていったところ、胸水が溜まっていることが分かり、FIPの可能性が高いと言われた。最悪の診断だった。

FIPとは「猫伝染性腹膜炎」というかなり致死率の高い病気である。
その日から不治の病との闘いが始まった。治療といっても対症療法しかない。
胸水が溜まると肺が圧迫されて危険なので抜かなくてはならない。針を刺されてもジッと我慢しているこの子の健気さが哀れだった。毎日炎症を抑える薬を飲ませ、数日おきに点滴に通った。少しでも体力をつけさせたくて、食べられそうなフードを探し回り、それを毎日、口の端からスプーンで少しずつ食べさせた。
平均的な余命が1ヶ月とも言われるこの病気。自分なりに覚悟も決めていたが、薬が効いていたのだろうか、2ヶ月目も3ヶ月目も、無邪気に元気に兄弟猫と走り回っていた。もしかしたら病気だなんて間違いじゃないかな・・・そんな期待をしてしまいたくなるほど、他の猫と何ら変わらない毎日だった。

それでも死は一步一步確実に迫ってきていたのである。
診断を受けてから5ヶ月が経ち、冬の気配を感じ始めたころ、黄疸が出て、耳や鼻先がうっすら黄色くなってきた。体がやせ始め、少しずつ少しずつ弱っていく・・・脱水に貧血・・・
抱きしめて頭を撫でながら、もう少し頑張ると願いつつも、もう充分だよとも思う。
まだ1才にもならないのに・・・人にも猫にも優しい、こんないい子なのに・・・
もっともっと楽しいこといっぱいさせてあげたかった。何よりも本当の家族に巡り合わせてあげたかった。涙が溢れた。

そして最期の日はやってきた。
いつものように甘えて、まっすぐ私の目を見ながら、細い声で「ニャー」と鳴いた後、力が抜けたように倒れ少し痙攣した。そしてもうそのきれいな瞳が開かれることはなかった。永遠に・・・

毎年保健所に持ち込まれたり、公園や道端に捨てられるたくさんの猫たち。
そんな中で私たちの手元までたどり着くのはほんの一握り。そして本当の家族と巡り合って幸せになっていく猫たちの影でこの子のようにひっそりと短い一生を終える子猫も少なくない。
『それでも最期を看取ってもらえるだけ幸せなことかもしれないね』そんな会話を仲間とした。なんて寂しい会話だろうか。存在さえ知られることなく死んでいく仔猫も数知れずいることだろう。

Go!Cats 2012年活動報告・収支報告

活動報告

のら猫の不妊手術助成: 動物病院に御協力をいただきながら118匹(メス74匹、オス44匹)の猫の避妊・去勢手術に助成金をだすことができました。捨て猫やのら猫の被害など「猫問題」の解決には不妊手術が何よりも大切。これからも手術の必要性を多くの方に呼びかけていこうと思っています

猫の譲渡: 114匹の猫たちを温かいご家庭に送り届けることができました。私たちが保護するのはそのまま放置すれば死んでしまったかも知れない猫ばかりです。皆様のお陰でたくさんの猫が幸せになりました。御礼申し上げます。

パネル展: 昨年はパネル展を13回行いました。総額580,345円の募金を頂き、全額を手術の助成金や治療費として使わせていただきましたのでご報告いたします。

Go!Catsの活動も10年目に入ります。これからも応援よろしくお願いたします。

収支報告

収入: 寄付、募金など	1,423,481 円
支出:	1,455,013 円
	△31,532 円

支出内訳:
不妊手術助成金及び手術代/688,805 円
保護した猫の治療費/328,417 円
フード代/199,025 円
譲る会、パネル展運営費/150,366 円
備品・消耗品費等/13,542 円
被災地支援(現金及び物品)74,858 円

飼い猫にも、外で暮らす猫にも
不妊手術のススメ！！

「猫の恋」は俳句でも2月の季語になっているそうで、まさに今が恋の季節の真っ最中。家のまわりから夜な夜な猫たちの恋の歌が聞えてきませんか？

メス猫の取り合いをするオス同士のケンカの声で眠りを破られることはありませんか？

庭先や公園などでエサを与えている猫の不妊手術を済ませていない方にとっては警戒警報発令のサイレンです。

もし、このまま手術をしなかったら…と考えるみてください。健康な猫なら発情がおさまった時にはまず妊娠していますから2ヶ月後には出産です。しばらくは安全な場所に隠れて子育てをし、4月～5月頃ヨチヨチ歩きの子猫を5匹も6匹も連れてくることでしょう。メス猫が2匹いれば一気に9匹にも10匹にも増えてしまいます。そうなってから頭を抱えても間に合いません。何匹もの子猫の里親探しは実に大変です。手元に残ってしまうかも知れません。そして半年後には親子で産んで…その半年後には親と子と孫みんなで産んで…そのまた半年後には……ネコ算恐るべし！！本当に手に負えない状態になってしまいます。

「手術はかわいそうだから」とためらっている方がいらっしゃるかも知れませんが、あなたの優しさが逆に猫を苦しめたり、死に追いやったりする事になってしまいます。飼い猫にも、そして、庭先や公園でエサを与えている猫たちにも是非避妊・去勢手術を受けさせて下さい。

不妊手術助成キャンペーンを実施中！！

Go! Catsは皆様からのご寄付や募金を基金として、飼い主がない猫の避妊・去勢手術にメス6000円、オス4000円の助成金をお出ししています。協力してくださる病院もご紹介しますし、捕獲の方法などもアドバイスいたします。適用条件がありますので、まずは事務局にお問い合わせください。



キャットQ&A

Q：小学生の子供が目の開いたばかりの赤ちゃん猫を2匹拾ってきましたが家では飼えません。どうしたら良いでしょう。

A：心優しい子供さんと一緒に命の大切さを考える良い機会です。「元の場所に置いてきなさい」なんてことはおっしゃらないでくださいね。

お家で飼えないのでしたら一時的に保護をして育てながら里親さんを探しましょう！

まずは病院に連れて行って健康状態を診てもらってください。ノミやダニ、回虫などの寄生虫がいたら駆除します。

目が開いていれば、子猫用の哺乳瓶を使って子猫用ミルクを飲ませることができるでしょう（人間の牛乳は与えないで下さい）。生後1ヶ月ぐらい（体重およそ500g）になったら離乳を始めます。離乳食も市販されていますし、仔猫用ドライフードをぬるま湯につけてふやかしても良いでしょう。ウンチの状態や体重などは毎日要チェック。肌寒い日には保温も必要です。

譲渡に適した時期は生後2～3ヶ月でしょうか。遊んだりケンカしたりしながら兄弟一緒に暮らすのは仔猫にとってとても大事なことです。出来ることならその時期まで一緒に過ごさせてあげたいものです。飼い主さんを探す時はタウン誌に載せたり、チラシを作って動物病院やスーパーに張らせてもらうなどしてチャンスを増やすと良いですね。せっかく助けた命です。譲渡はくれぐれも慎重にすすめ、安心して託せる方を選んであげてください。そして、迎えにきてもらうのではなく必ず先方のお宅に届けましょう。

「みんな幸せになってほしい！」と願って開く

「仔猫・若猫譲る会」

- 第1日曜日：ペット愛ランド早出町店(11:00～15:00)
- 第2土曜日：熊平動物病院(半田山 12:30～15:30)
- 第3日曜日：ペット愛ランド志都呂店(11:00～15:00)
- 第4日曜日：西山会館(西山町 13:00～16:00)



「小さな命について考えるパネル展」

日時：毎月第4土曜日(11:00～17:00)

場所：遠鉄百貨店正面玄関前(雨天中止)

殺処分のこと、捨てられた犬や猫のこと、動物実験のこと…、パネルを通して動物たちが置かれている現実を見つめてください。

※譲る会もパネル展も場所や日時を変更することがあります。